

報道機関 各位

ノーベル賞受賞者との5日間  
「15th HOPE MEETING」に本学の留學生が参加！

◆本件のポイント！

- ・アジア・太平洋・アフリカ地域から選抜された研究者たちが交流する合宿形式の会議
- ・ノーベル賞受賞者をはじめとする著名研究者や同年代の研究者が参加
- ・日本の若手研究者として選抜される約20名の中に、本学の留學生が選出

◆本件の概要

第15回HOPEミーティングに、インドからの留學生で、本学大学院・自然科学研究科 博士後期課程3年の RAJ DEEPさんが、日本からの参加者の1人として選ばれました。

HOPE ミーティングは、アジア・太平洋・アフリカ地域等から選抜された優秀な大学院生等を対象として、ノーベル賞受賞者などの世界の知のフロンティアを開拓した人々との対話、同世代の研究者との交流、さらには人文社会分野の講演や芸術プログラムを通じて、科学者としてより広い教養の涵養と人間性の陶冶を図り、彼らが将来のアジア・太平洋・アフリカ地域等の科学研究を担う研究者として飛躍する機会を提供するものです。今回は、5日間の日程で京都市にて開催され、著名研究者による講演やグループディスカッションが行われるほか、参加者によるポスター発表やプレゼン等、多様な背景を持つ参加者同士の国際的・学術的な交流を促すプログラムが予定されています。

日本側からは若手研究者ら約20名が参加し、その他アジア・太平洋・アフリカの国・地域から約90名が参加する予定です。

RAJ DEEPさんは、中小企業や途上国でも使える半導体技術の開発を進める藤田恭久教授の指導のもと、従来の半導体とは異なる「粒子層技術」を使用した白色LEDを世界で初めて作製する等、精力的に研究を進めてきた実績が評価された結果となりました。

◆概要内容

日時 2024年2月26日(月)―3月1日(金)

場所 京都府京都市(予定)

◆本件の連絡先

総合理工学部 藤田 恭久 教授

メール:[fujita\[at\]riko.shimane-u.ac.jp](mailto:fujita[at]riko.shimane-u.ac.jp) / 電話:0852-32-6257

※[at]は@に置き換えて下さい

◇その他

主催:独立行政法人日本学術振興会

運営委員長:梶田隆章(2015年ノーベル物理学賞)



【添付資料: あり ( 2 枚 )

# ノーベル賞受賞者 との5日間

## 15th HOPE MEETING

HOPEミーティングは、アジア・太平洋・アフリカ地域から選抜された  
大学院生等が、ノーベル賞受賞者をはじめとする著名研究者や同年代の  
仲間たちと交流する合宿形式の会議です。

### プログラム概要



ノーベル賞受賞者による講演



ノーベル賞受賞者との  
グループディスカッション



参加者によるポスター発表



参加者チームによる  
チームプレゼンテーション

## 若手研究者募集

### 第15回HOPEミーティング概要

会期 **2024年 2月26日(月) — 3月1日(金)**  
※2月25日(日)チェックイン

開催地 京都府京都市 [予定]

開催方式 集合・対面形式 (ただし、講演者はオンライン参加になることがあります)

主催 独立行政法人日本学術振興会

運営委員長 梶田 隆章 (2015年ノーベル物理学賞)

募集人数 日本側参加者 20名程度  
(その他、アジア・太平洋・アフリカの国・地域から約90名)

講演者 物理学、化学、生理学・医学及び関連分野のノーベル賞  
受賞者及び著名研究者 [予定]

申請締切

2023年

**9月8日(金)**

申請資格

**博士課程(後期)学生 /  
若手研究者**  
(博士の学位取得後5年未満)

申請にあたっては、公式ウェブサイトに掲載の「募集要項」を必ずご確認ください。



<https://www.jsp.go.jp/j-hope/>

HOPEミーティング

検索 🔍





# 参加者募集

Call for Applications

HOPEミーティングでは、著名研究者による講演の他、多様な背景を持つ参加者同士の国際的・学際的な交流を促すプログラムが用意されています。意欲のある皆さんの積極的な参加をお待ちしています。

申請締切 **Application Deadline**

2023年

**9月8日(金)**

申請資格 **Eligibility**

PhD students

博士課程(後期)学生 /

Young researchers (who received his/her PhD in the past 5 years)

若手研究者 (博士の学位取得後5年未満)

## プログラム案 TENTATIVE PROGRAM

日程 Date	午前 Morning			午後 Afternoon		
月 2/26 Mon, 26 FEB	開会式 Opening Ceremony	講演 Lecture	グループディスカッション Group Discussion	ポスター発表 Poster Session	チームプレゼンテーション準備 Prepare for Team Presentations	レセプション Reception
火 2/27 Tue, 27 FEB	講演 Lecture	グループディスカッション Group Discussion	講演 Lecture	ポスター発表 Poster Session	講演 Lecture	グループディスカッション Group Discussion
水 2/28 Wed, 28 FEB	講演 Lecture	グループディスカッション Group Discussion	ポスター発表 Poster Session	研究施設見学 Research Institutions Visit	チームプレゼンテーション準備 Prepare for Team Presentations	
木 2/29 Thu, 29 FEB	講演 Lecture	グループディスカッション Group Discussion	講演 Lecture	文化プログラム Cultural Programs	チームプレゼンテーション準備 Prepare for Team Presentations	
金 3/1 Fri, 1 MAR	チームプレゼンテーション Team Presentations	閉会式 Closing Ceremony		文化施設見学 Excursion		

## 参加費無料

Admission Free

以下の経費は本会が負担します。 JSPS covers the following domestic (in Japan) cost.

※国内所属機関から会場への往復交通費・会期中の宿泊費・食事等(本会規程に基づく)。  
Round-trip transportation between the participant's affiliated institution and the meeting venue, lodging and meals during the meeting. (According to the JSPS regulations.)

### 参考 前回HOPEミーティングノーベル賞受賞者 Nobel Laureates at the 14th HOPE Meeting

ドナ・ストリックランド | Donna STRICKLAND

2018年ノーベル物理学賞 | Physics 2018

ベンジャミン・リスト | Benjamin LIST

2021年ノーベル化学賞 | Chemistry 2021

ハーベイ・J・オルター<sup>★</sup> | Harvey J. ALTER<sup>★</sup>

2020年ノーベル生理学・医学賞 | Physiology/Medicine 2020

梶田 隆章 | KAJITA Takaaki

2015年ノーベル物理学賞 | Physics 2015

グレゴリー・ウィンター<sup>★</sup> | Gregory WINTER<sup>★</sup>

2018年ノーベル化学賞 | Chemistry 2018

ティム・ハント | Tim HUNT

2001年ノーベル生理学・医学賞 | Physiology/Medicine 2001

天野 浩 | AMANO Hiroshi

2014年ノーベル物理学賞 | Physics 2014

ヨハン・ダイゼンホーファー | Johann DEISENHOFER

1988年ノーベル化学賞 | Chemistry 1988

★…… オンライン参加の講演者  
Lecturers who participated online



申請にあたっては、公式ウェブサイトに掲載の「募集要項」を必ずご確認ください。



<https://www.jsps.go.jp/j-hope/>

HOPEミーティング

検索



JSPS

JAPAN SOCIETY FOR THE PROMOTION OF SCIENCE

日本学術振興会

独立行政法人日本学術振興会 国際事業部研究協力第一課 HOPEミーティング担当  
〒102-0083 東京都千代田区麹町 5-3-1

TEL 03-3263-2414 E-MAIL hope-meetings@jsps.go.jp